

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	偏見・差別・人権 Prejudice, Discrimination, and Human Rights					担当者所属 職名・氏名	医学研究科	非常勤講師	豊福	誠二	
								准教授	加藤	寿宏	
								非常勤講師	井岡	康時	
							文学研究科	教授	落合	恵美子	
			教育学研究科	教授	駒込	武					
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	教育・心理・社会(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・開講期	2025・前期		曜時限	月5		配当学年	全回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]											
人間社会における偏見と差別に関わる諸問題を人権の観点から学問的に解明し、教授することは、大学として果たすべき重要な基本課題であるとの認識に立ち、本学学生に人権問題に関する概論を教授するため、全学共通科目「偏見・差別・人権」を開講する。											
[到達目標]											
講義を通じて社会における偏見と差別についての認識を深めると同時に、人権問題を自ら考える機会とする。											
[授業計画と内容]											
以下の5つのテーマを取り上げ、それぞれのテーマに関する講義を行う。											
現代社会における人権の問題(4/9、4/16) 担当：国際高等教育院 非常勤講師 豊福 誠二 本講座では、まず、弁護士である講師が「人権とは何であるか」について概説をする。その上で、近時みられる「ヘイト・スピーチ」の現状を紹介し、なぜこのような現象が発生するのか、どのような被害があるのか、法的規制はどうあるべきかについて考える。											
障害（disability）に関する問題(4/23、5/7、5/14) 担当：医学研究科 准教授 加藤 寿宏 地域の学校に在籍する児童・生徒のうち発達障害（自閉症スペクトラム障害、限局性学習障害、注意欠如・多動性障害）の可能性のある者は、6.5%といわれている。しかし、発達障害と定型発達との境界は明確ではなく、スペクトラム（連続帯）であることから、診断がつかない者も含めると、その割合はかなり多く、発達障害はもっとも身近な障害であると言える。また、発達障害者の中には、優れた能力がある者も多く、大学や職場で出会う機会も多い。しかし、発達障害は目に見えない障害であるため、偏見・差別が生まれやすい。 本講義では視聴覚教材等も活用し発達障害についての理解を深める。											
被差別部落に関する問題(5/21、5/28、6/4) 担当：国際高等教育院 非常勤講師 井岡 康時 自由・平等の理念や合理主義などを基調とする近現代の社会が、なぜ古い時代に淵源をもつと考えられる差別を克服できないのか。さまざまな資料を検討しながら、可能な限り差別意識の深奥にせまり、課題解決の道程を探っていきたい。											
ジェンダーに関する問題(6/11、6/20、6/25) 担当：文学研究科 教授 落合 恵美子 現代日本社会に生きる女性や男性は、その性別（ジェンダー）ゆえに、どのような問題に直面しているのだろうか。本講義は、その現実にも面的に光を当てることから出発する。次にその淵源を探るため、日本の「伝統的」ジェンダー秩序をアジアの文化的多様性の中に位置付け、その歴史的変容をジェンダー史研究の成果に基づいて跡付ける。最後に、現在のヨーロッパ、北米、アジア諸国との国際比較により、現代日本のジェンダーを広い視野に位置づけ、他の社会と共通する点と現											
----- 偏見・差別・人権(2)へ続く -----											

## 偏見・差別・人権(2)

代日本独自の点を切り分ける論理を見つけて、課題解決の方向性を考えたい。

外国人に関する問題(7/2、7/9、7/17) 担当：教育学研究科 教授 駒込 武  
日本軍「慰安婦」問題と、今日の日本社会におけるこの問題についての報道について、外国人への民族差別および性差別という観点から考察する。

コーディネーター：未定

### 【履修要件】

特になし

### 【成績評価の方法・観点】

毎回の小レポートと定期試験で成績評価を行う（小レポート40点、定期試験60点）。  
なお、8回以上の出席を定期試験の受験資格とする

### 【教科書】

使用しない

### 【授業外学修（予習・復習）等】

講義内容の復習を行うこと

### 【その他（オフィスアワー等）】

### 【主要授業科目（学部・学科名）】